

2019年（平成31年） 5月10日（金曜日）

毎週（金）14:00発行

発行所 (一財)日本エネルギー経済研究所  
石油情報センター電話 (03) 3534-7411 (代)  
FAX (03) 3534-7422〒104-8581 東京都中央区勝どき1-13-1イヌビル・カドキ11階  
ホームページ <https://oil-info.ieej.or.jp>

## ■ 概況

4/18~4/24のNYMEX・WTIは、64.00~66.30ドルの範囲で推移した。

4月25日は、前日のEIA米国原油在庫の予想外の積み増し報告で、供給過剰感が認識され続落した。6月限終値は前日比0.68ドル安の65.21ドル。

週末26日は、トランプ大統領がOPEC主要国に電話で原油価格引き下げを要請したとの報道で大幅に続落した。米国内石油掘削リグ稼働数805基（前週比20基減）と2週連続の減少報告は影響がなかった。6月限終値は前日比1.91ドル安の63.30ドル。

週明け29日は、トランプ大統領の要請を裏付ける産油国の反応がないこと、ドル安進行に伴う割安感から4営業日ぶりに反発した。6月限終値は前週末比0.20ドル高の63.50ドル。

30日は、ベネズエラ情勢が、混迷を深める中、売り買いが交錯したが、あと続伸した。また、サウジのファリハ・エネルギー相のイラン原油の供給削減には対応するも、在庫水準によっては減産延長との発言があった。6月限終値は前日比0.41ドル高の63.91ドル。

5月1日は、EIA週報で、米国原油在庫が前週比990万バレル増と市場予想を上回り2週連続の積み増しとなり、反落した。6月限終値は前日比0.31ドル安の63.60ドル。

2日は、ポンペオ國務長官の8カ国へのイラン制裁適用除外の打ち切り発表にもかかわらず、株安に加え、前日のEIA週報で米国産油量が日量1230万バレルと過去最高、在庫も1年7ヶ月ぶりの高水準で、続落した。6月限終値は前日比

1.79ドル安の61.81ドル。

3日は、堅調な米国労働統計の発表を受け、小反発した。米国内稼働石油掘削リグは前週比2基増の807基と3週ぶりの増加。6月限終値は前日比0.13ドル高の61.94ドル。

週明け6日は、前日のトランプ大統領の対中関税引き上げ発言の一方で、中東への空母・戦略爆撃機派遣発表で続伸した。6月限終値は前日比0.31ドル高の62.25ドル。

7日は、米中貿易摩擦の激化による経済先行き不安で、反落した。6月限終値は前日比0.85ドル安の61.40ドル。

8日は、EIA週報で、米国原油在庫が前週比400万バレルと予想外の取り崩しを好感し、反発した。6月限終値は前日比0.72ドル高の62.12ドル。

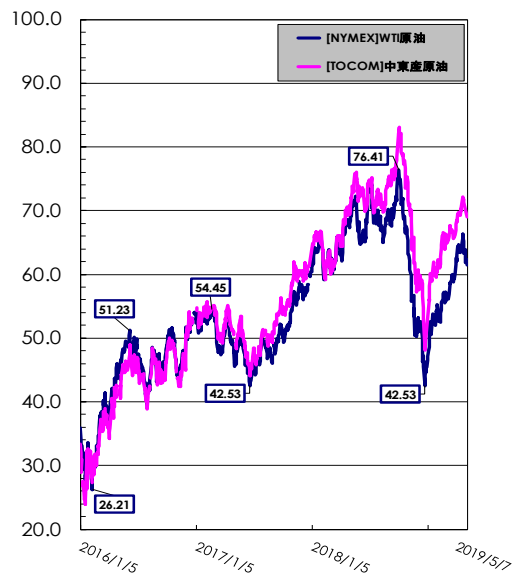
アジアの指標原油である中東産バイ原油/東京市場（6月渡し）は4月18日~24日の間70.90~73.70ドルの範囲で推移した。4月25日74.30ドル、26日73.80ドル、5月7日70.60ドル、8日69.40ドルで推移した。

為替は4月18日~24日の間111.86~112.04円の範囲で推移した。4月25日112.28円、26日111.85円、5月7日110.69円、8日110.19円で推移した。

そのような中で、5月7日時点の小売価格は、ガソリンが前週比1.8円の値上がり、軽油も同1.7円の値上がり、灯油も同23円の値上がり（18%ベース）だった。ガソリン、軽油、灯油ともに11週連続の値上がりだった。この週（5月第1週）の原油コストは値下がりし、次週・の元売の卸価格はガソリン・軽油・灯油ともに、全社1.5円の引き下げとなった。

| 原油 |                        | 今週         | 前週比                    | 前年比 |
|----|------------------------|------------|------------------------|-----|
| 需給 | 原油処理量 (千kl)            | 4/28 ~ 5/4 | 3,463 ▼ -38 ▲          | -   |
|    | トッパー稼働率 (%)            | "          | 88.4 ▼ -1.0 ▲          | -   |
|    | 原油在庫量 (千kl)            | 5/4        | 12,692 ▲ 60 ▼          | -   |
| 価格 | 中東産原油 (TOCOM) (\$/bbl) | 5/7        | 68.95 ▼ -2.33 ▼ -3.2   |     |
|    | WTI原油 (NYMEX) (\$/bbl) | 5/6        | 62.25 ▼ -1.25 ▼ -8.5   |     |
|    | 原油CIF単価 (\$/bbl)       | 3月下旬       | 66.83 ▲ 1.04 ▲ 0.04    |     |
|    | ①原油CIF単価 (¥/kl)        | "          | 46,869 ▲ 824 ▲ 2,105   |     |
|    | ②ドル換算レート (¥/\$)        | "          | 111.48 ▼ -0.21 ▼ -4.92 |     |
|    | 外国為替TTSレート (¥/\$)      | 5/7        | 111.69 ▲ 1.16 ▼ -1.74  |     |

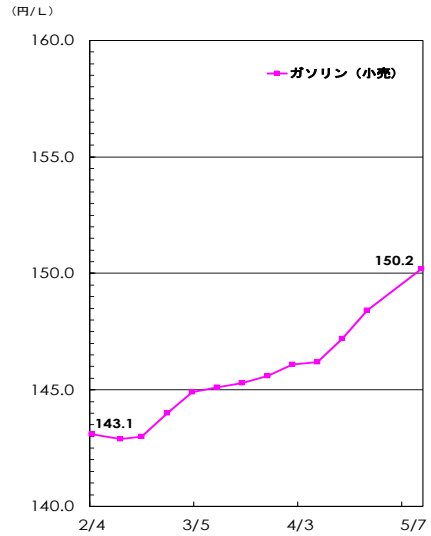
(\$/b)



(単位: 千kl、円/%)

| ガソリン |                            | 今週          | 前週比         | 前年比        |       |
|------|----------------------------|-------------|-------------|------------|-------|
| 需給   | 生産                         | 4/28 ~ 5/4  | 1,014 ▲ 30  | ▼ -        |       |
|      | 輸入                         | "           | n.a.        | n.a.       |       |
|      | 出荷                         | "           | 951 ▲ 10    | ▼ -        |       |
|      | 輸出                         | "           | 45 ▲ 39     | ▼ -        |       |
|      | 在庫                         | 5/4         | 1,604 ▲ 18  | ▼ -        |       |
| 価格   | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 4/23 ~ 4/29 | 65.7 ▲ 1.2  | ▲ 2.6      |       |
|      | 先物 [期近物/終値]                | (TOCOM/東京湾) | 4/23 ~ 4/29 | 64.1 ▲ 1.2 | ▲ 1.4 |
|      |                            | (TOCOM/中部)  | 4/26        | 66.1 ▲ 0.1 | ▲ 4.1 |
|      | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 5/7         | 150.2 ▲ 1.8 | ▲ 4.3      |       |

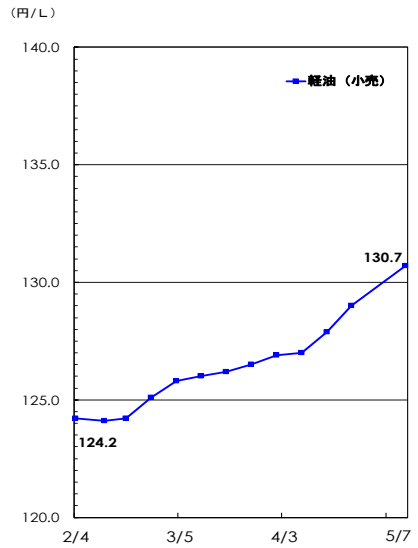
※業転、先物価格は税抜き価格



(単位: 千kl、円/%)

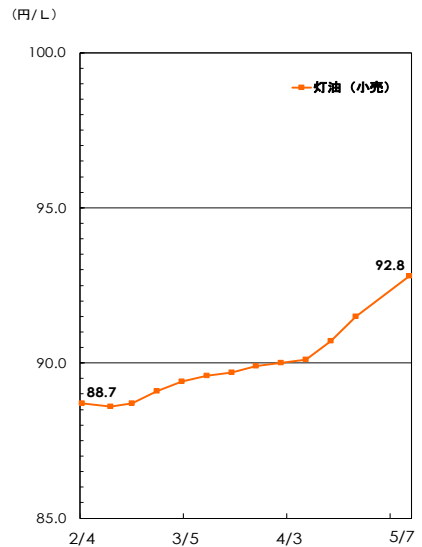
| 軽油 |                            | 今週          | 前週比         | 前年比         |       |
|----|----------------------------|-------------|-------------|-------------|-------|
| 需給 | 生産                         | 4/28 ~ 5/4  | 771 ▼ -53   | ▲ -         |       |
|    | 輸入                         | "           | n.a.        | n.a.        |       |
|    | 出荷                         | "           | 302 ▼ -393  | ▼ -         |       |
|    | 輸出                         | "           | 194 ▼ -98   | ▼ -         |       |
|    | 在庫                         | 5/4         | 1,471 ▲ 274 | ▼ -         |       |
| 価格 | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 4/23 ~ 4/29 | 69.2 ▲ 2.2  | ▲ 4.8       |       |
|    | 先物 [期近物/終値]                | (TOCOM/東京湾) | 4/23 ~ 4/29 | 67.0 ▼ -0.1 | ▲ 3.9 |
|    |                            | (TOCOM/中部)  | 4/26        | -           | -     |
|    | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 5/7         | 130.7 ▲ 1.7 | ▲ 6.2       |       |

※業転、先物価格は税抜き価格



(単位: 千kl、円/%)

| 灯油 |                            | 今週          | 前週比         | 前年比        |       |
|----|----------------------------|-------------|-------------|------------|-------|
| 需給 | 生産                         | 4/28 ~ 5/4  | 207 ▲ 49    | ▲ -        |       |
|    | 輸入                         | "           | n.a.        | n.a.       |       |
|    | 出荷                         | "           | 128 ▼ -49   | ▲ -        |       |
|    | 輸出                         | "           | 0 ➡ 0       | ➡ -        |       |
|    | 在庫                         | 5/4         | 1,166 ▲ 79  | ▼ -        |       |
| 価格 | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 4/23 ~ 4/29 | 68.9 ▲ 1.5  | ▲ 5.1      |       |
|    | 先物 [期近物/終値]                | (TOCOM/東京湾) | 4/23 ~ 4/29 | 66.5 ▲ 0.6 | ▲ 3.1 |
|    |                            | (TOCOM/中部)  | 4/26        | 66.5 ➡ 0.0 | ▲ 6.0 |
|    | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 5/7         | 92.8 ▲ 1.3  | ▲ 4.4      |       |



■ 関連情報

1 海外/原油

5月8日のNYMEX市場WTI原油は、この日発表の米国エネルギー情報局(EIA)の在庫週報で、米国原油在庫が前週比400万バレル減(前々週比では500万バレル増)と市場予想(前週比120万バレル増)に反し取り崩されたことから、米国の供給過剰感が和らぎ、反発した。ただし、米国通商代表部がこの日の官報で対中制裁関税の25%への引き上げを告示したことで、上値は重かった。6月限の終値は前日比0.72ドル高の62.12ドル、7月限の終値は前日比0.71ドル高の62.22ドル。なお、5月1日のEIA在庫週報では、前週末の米国原油在庫は前週比990万バレル増の4.7億バレルと

2017年9月以来の高水準を記録するとともに、前週の米国原油生産量も日量1239万バレルと過去最高を記録した。

EIAによると、5月6日時点のガソリンの小売価格は、前々週比5.6セント、前週比1.0セント値上がりの1ガロン2.897ドル(86.3円/ℓ)、ディーゼルは各々2.4セント、0.2セント値上がりの3.171ドル(94.4円/ℓ)となった。ガソリンは13週連続の値上がり、ディーゼルは5週連続の値上がりだった。

2 国内/製品需給 (1) 出荷

石連週報によれば、2019年4月28日～5月4日に休止したトッパー能力は28.0万バレル/日で、前週に対して13.4万バレル/日増加した(全処理能力は351.9万バレル/日)。原油処理量は346.3万klと、前週に比べ3.8万kl減少。前年に対しては4.8万klの増加。トッパー稼働率は88.4%と前週に対して1.0ポイントの減少、前年に対しては1.2ポイントの増加となった。

生産は前週に比べてガソリン、ジェット、灯油が増産となり、その他の油種で減産となった。

ガソリン/3.1%増、ジェット/1.8%増、灯油/31.2%増、軽油/6.4%減、A重油/35.8%減、C重油/8.6%減。今週のC重油の輸入は0.0万kl(前週比5.1万kl減)。軽油の輸出は19.4万kl(前週比9.8万kl減)。

出荷(輸入分を除く)は、前週比ではガソリンが増加となり、その他の油種で減少となった。前年比ではジェット、灯油が増加となり、その他の油種で減少となった。

ガソリンの出荷は95.1万 kl(対前週1.1%増)と前週比で2週連続で増加となり、18週連続で100万klを下回った。

ジェット9.6万kl(対前週18.0%減)、灯油12.8万kl(対前週27.7%減)、軽油30.2万kl(対前週56.5%減)、A重油6.2万kl(対前週72.9%減)、C重油6.5万kl(対前週49.9%減)。

(単位:千KL)

|        | 今週<br>(4/28 ~ 5/4) | 前週<br>(4/21 ~ 4/27) | 前週比    |        |
|--------|--------------------|---------------------|--------|--------|
| ガソリン   | 951                | 941                 | ▲ 10   | (1%)   |
| ジェット燃料 | 96                 | 117                 | ▼ -21  | (-18%) |
| 灯油     | 128                | 177                 | ▼ -49  | (-28%) |
| 軽油     | 302                | 695                 | ▼ -393 | (-57%) |
| A重油    | 62                 | 228                 | ▼ -166 | (-73%) |
| C重油    | 65                 | 130                 | ▼ -65  | (-50%) |
| 合計     | 1,604              | 2,288               | ▼ -684 | (-30%) |

※今週出荷量 = (前週末在庫 + 今週生産 + 今週輸入) - (今週輸出 + 今週末在庫)

2 国内/製品需給 (2) 在庫

5月4日時点の在庫は、ジェット、C重油で取り崩しとなり、その他の油種で積み増しとなった。前年に対してはA重油で積み増しとなり、その他の油種で取り崩しとなった。

ガソリンは160.4万kl、前週差1.8万kl増。前年に対しては5.8万kl少ない。

灯油は116.6万kl、前週差7.9万kl増。前年に対しては29.5万kl少ない。

軽油は147.1万kl、前週差27.4万kl増。前年に対しては5.5万kl少ない。

A重油は80.4万kl、前週差6.9万kl増。前年に対しては1.5万kl多い。

C重油は192.8万kl、前週差0.9万kl減。前年に対しては8.4万kl少ない。

(単位:千KL)

|        | 今週<br>(5/4) | 前週<br>(4/27) | 前週比    |        |
|--------|-------------|--------------|--------|--------|
| ガソリン   | 1,604       | 1,586        | ▲ 18   | (1%)   |
| ジェット燃料 | 809         | 949          | ▼ -140 | (-15%) |
| 灯油     | 1,166       | 1,087        | ▲ 79   | (7%)   |
| 軽油     | 1,471       | 1,197        | ▲ 274  | (23%)  |
| A重油    | 804         | 735          | ▲ 69   | (9%)   |
| C重油    | 1,928       | 1,937        | ▼ -9   | (-0%)  |
| 合計     | 7,782       | 7,491        | ▲ 291  | (3.9%) |

### 3 国内/製品卸売価格 (1) 元売会社 仕切価格改定動向

5月7日の原油価格は、4月16日～29日比で値下がりし、為替レートも円高で、原油コストは値下がりしたものと見られる(10連休により休場のため)。

陸上スポット価格は、4月23日～5月7日の間、ガソリン118～121円台で大きく値上がり後わずかに値下がり、軽油67～70円台で大きく値上がり、灯油67～70円台で大きく値上がり後わずかに値下がりして推移した。A

海上スポット価格は、同期間で、ガソリン121～122円台で値上がり後大きく値下がり、軽油67～71円台で大きく値

上がり、灯油63～65円台でわずかに値上がり後大きく値下がりして推移した。

先物価格は、同期間で、ガソリン116～118円台で値上がり後大きく値下がり、軽油67～70円台で横ばい後大きく値上がり、灯油64～66円台でわずかに値上がり後大きく値下がりして推移した。

次週の元売の卸価格は、ガソリン・灯油・軽油ともに全社1.5円の引き下げとなった。

### 3 国内/製品卸売価格 (2) 業転価格・先物価格動向

4月23日～29日の製品スポット市況は、先物・軽油を除く全油種・全取引で、4月16日～22日平均と比べ値上がりした。

5月第2週(5/9～5/15)適用の元売卸価格に影響を与える直近の陸上スポット価格(4/23～4/29千葉、川崎、中京、阪神の4地区の陸上ラック価格平均値)は、前週比で、ガソリンは1.2円の値上がり、灯油は1.5円の値上がり、軽油は2.2円の値上がりだった。

東京湾渡しの海上スポット平均価格は、前週比で、ガソリンは1.7円の値上がり、灯油は1.0円の値上がり、軽油は0.9円の値上がりだった。

先物価格は、前週比で、ガソリンが1.2円の値上がり、灯油は0.6円の値上がり、軽油は0.1円の値下がりだった。

5月第2週の大手元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに全社1.5円の引き下げとなった。なお、元売会社は、2010年から卸価格の改定に際して、原油や製品相場、他社仕切りなどの動向を総合的に判断する方式としたが、2014年6月から、原油調達コストをより重視する方式に変更した。

(RIM) (単位: 円/%)

| [陸上ローリー4地区平均] | 今週 (4/23～4/29) | 前週 (4/16～4/22) | 前週比   |
|---------------|----------------|----------------|-------|
| レギュラー         | 65.7           | 64.5           | ▲ 1.2 |
| 灯油            | 68.9           | 67.4           | ▲ 1.5 |
| 軽油            | 69.2           | 67.0           | ▲ 2.2 |

(TOCOM) (単位: 円/%)

| [期近物/終値] [平均] | 今週 (4/23～4/29) | 前週 (4/16～4/22) | 前週比    |
|---------------|----------------|----------------|--------|
| レギュラー         | 64.1           | 62.9           | ▲ 1.2  |
| 灯油            | 66.5           | 65.9           | ▲ 0.6  |
| 軽油            | 67.0           | 67.1           | ▼ -0.1 |

※上記価格は税抜き価格

参考値 (4/23～4/29実績値) (単位: 円/%)

| 油種   | 現物    | 先物     | 平均    |
|------|-------|--------|-------|
| ガソリン | ▲ 1.2 | ▲ 1.2  | ▲ 1.2 |
| 灯油   | ▲ 1.5 | ▲ 0.6  | ▲ 1.0 |
| 軽油   | ▲ 2.2 | ▼ -0.1 | ▲ 1.0 |
| A重油  | ▲ 1.9 |        |       |

(出所) 現物: RIM社陸上ローリー4地区平均価格

(千葉・川崎・中京・阪神)

先物: TOCOM京浜地区海上バージ渡し平均価格

### 4 国内/製品小売価格

5月7日時点のSS店頭価格は、ガソリンが前週比1.8円高の150.2円、軽油も同1.7円高の130.7円、灯油は18%ベースで同23円高の1,670円(1%ベースでは同1.3円高の92.8円)だった。ガソリン・軽油・灯油ともに11週連続の値上がりだった。都道府県別には、値上がりが全47都道府県、横ばい・値下がりはない。全国最安値は徳島県の145.6円(前週比3.0円高)、次が埼玉県145.9円(同1.9円高)、最高値は沖縄県と鹿児島県の158.6円(各同2.2円高、1.4円高)であった。最も値上がりしたのは3.3円高の愛知県(148.8円)だった。

先週の原油コストは値下がりし、今週適用の大手元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに、全社1.5円の引き下げとなった。

今週は、原油価格は値下がりし、為替レートも円高で、原油コストは値下がりした。次週適用の元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに全社1.5円の引き下げとなった。次週(5月13日)のガソリン・灯油の小売価格は小幅な値下がりが見込まれる。

(単位: 円/%)

| (資工庁公表) [週動向] | 今週 (5/7) | 前週 (4/22) | 前週比   | 直近高値          |
|---------------|----------|-----------|-------|---------------|
| レギュラー         | 150.2    | 148.4     | ▲ 1.8 | 08/8/4 185.1  |
| 灯油            | 92.8     | 91.5      | ▲ 1.3 | 08/8/11 132.1 |
| 軽油            | 130.7    | 129.0     | ▲ 1.7 | 08/8/4 167.4  |

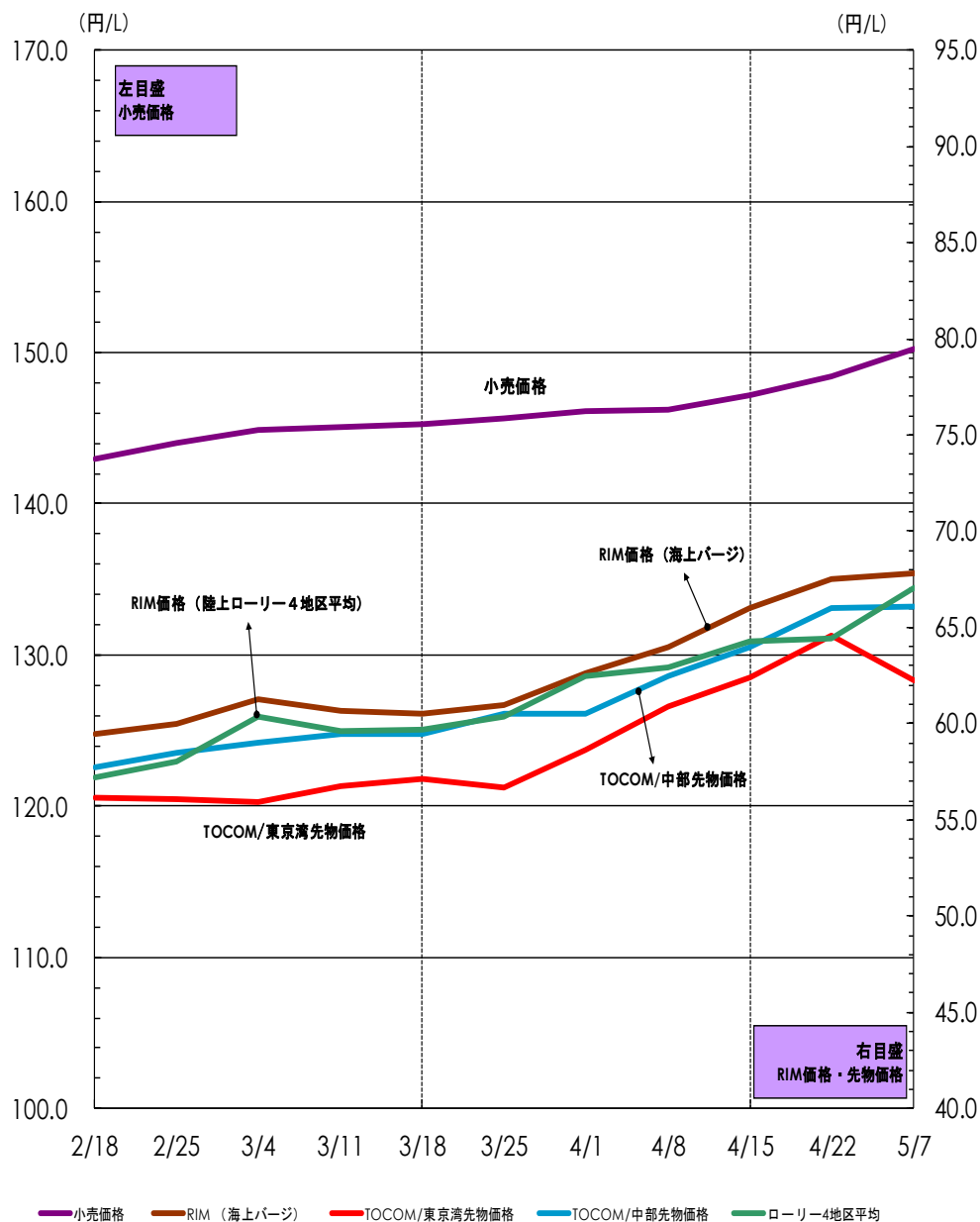
※ 現金一般価格の全国平均値 (消費税込み)

07年4月以降 2,000店舗を対象。

直近高値とは2003年10月以降の最高値。

# ガソリン価格推移

(2019/2/18 ~ 2019/5/7)



(注)①「小売価格」は消費税込みの価格 RIM価格・TOCOM先物価格は税抜き価格  
 ②RIM価格(陸上ローリー)は4地区平均価格

## ■ お知らせ

本レポートは当センターのホームページ (<https://oil-info.ieej.or.jp>) にも掲載しています。  
次回(2019第6号)の公表は、5/17(金)14:00です。

「セルフSS出店状況」(平成30年9月末現在)は、12月19日(水)14:00に公表しました。当センターのホームページをご覧ください。

### 本レポートのご利用について

本レポートについて、テキスト、グラフィックス及びその他の情報(以下、併せて「ドキュメント」)に関わるすべての知的所有権は、一般財団法人日本エネルギー経済研究所石油情報センター(以下、当センター)又は当センターヘドキュメントを提供している第三者へ独占的に帰属します。

当センターの事前の書面による承諾を得ることなく、ドキュメントを転用、複製、改変等の一切を固く禁じています。

また、ドキュメント内容に関しては万全を期していますが、その内容の正確性および安全性を保証するものではありません。

### 「ウィークリー オイル マーケット レビュー」とは

平成16年5月に経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部石油流通課 主催の「石油製品市場動向研究会」が取りまとめた中間報告で、「わが国石油産業における市場機能、価格発見機能が更に強固なものとなることが望まれるとともに、中期的な課題として、石油産業において確立していく市場機能、価格発見機能に基づく合理的な価格認識及びそれを踏まえた自己責任の下での経営判断の必要性について、石油産業関係者の認識が更に深まることにより、わが国の基幹産業である石油産業全体としての合理性、活力が一層高まることを期待したい。」と提案されています。

当センターでは、これを受けて石油連盟、全国石油商業組合連合会をはじめ関係機関等の協力を得て、石油関係者、企業の経営者層(特に給油所経営に携わる方々)から一般消費者の方々に対し、原油・石油製品需給や価格動向を的確に理解するツールの一つとして、「ウィークリーオイルマーケットレビュー」を平成17年5月より定期的に発信しています。

### 本レポート掲載データの出所について

#### ①【原油・石油製品需給】〈石連週報〉

石油連盟(石連)「原油・石油製品供給統計」週報データを千KL単位に換算して採用。

「出荷」は当センターの推計。

#### ②【原油・先物価格】〈WTI原油、中東産原油〉

WTI原油は、ニューヨーク商業取引所(New York Mercantile Exchange : NYMEX) WTI原油先物の期近物・終値を採用。

中東産原油は、東京商品取引所(The Tokyo Commodity Exchange : TOCOM) 中東産原油の期近物・終値を採用。 ※「二番限(翌月限)」

中東産原油は、ドバイ原油及びオマーン原油の平均価格を指標としている。為替換算レートとして、三菱東京UFJ銀行発表TTM (Telegraphic Transfer Middle rate : 中値) を採用。

原油CIF単価は、財務省貿易統計「原油・粗油平均CIF単価」(旬間値)を基に、石油連盟が試算したドル表示の参考値を採用。

#### ③【国内製品・元売仕切価格】

元売仕切価格は、元売会社(一次卸)と系列特約店など(二次卸)との間で売買される卸価格。

元売会社は、平成22年4月以降、現行の新価格体系を見直し、原油や製品相場、他社仕切りなどの動向を総合的に判断し、具体的方針を決める方式に変更。さらに平成26年6月以降、原油コストをより重視する方式に変更している。

#### ④【国内製品・業転価格】〈RIM業転〉

国内陸上ローリー価格は、リム情報開発株式会社(RIM)「LORRY RACK・レポート」の千葉、川崎、中京、阪神の4地区の平均値を採用(いわゆる4RIM価格とは異なる)。

#### ⑤【国内製品・先物価格】〈TOCOM〉

TOCOM 東京湾及び中部石油製品期近物・終値を採用。

TOCOM東京湾は京浜地区海上バージ渡し価格(平均値)、TOCOM中部は中部地区陸上ローリー渡し価格(平均値)。

#### ⑥【国内製品・小売価格】〈週動向調査〉

約2,000 SSを対象に週次ベースのSS店頭における店頭現金価格の全国平均値を採用(資工庁公表)。原則として、毎週(月)時点の価格を調査し(水)14:00に公表(資源エネルギー庁HPに掲載)。